



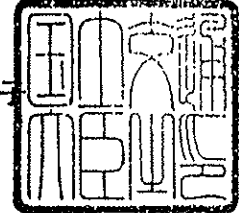
認定書

国住指第6406号
平成14年6月20日

大建工業株式会社

取締役社長 六車襄二 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第七号の二並びに同法施行令第107条の2第一号、第二号及び第三号（外壁（耐力壁）：各45分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

QF045BE-0064

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

硬質ウレタンフォーム保温板充てん／木繊維混入セメントけい酸カルシウム板・火山性ガラス質複層板表張／強化せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(別添)

1. 構造名

硬質ウレタンフォーム保温板充てん／木繊維混入セメントけい酸カルシウム板・
火山性ガラス質複層板表張／強化せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
壁 幅	910 以上
壁 高	9000 以下
壁 厚	138.5 以上

(別添-1)

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
①荷重支持部材	柱 ・断面形状 105×105 の断面寸法以上 ・間隔 1000 以下
②外装材	[1] 窯業系サイディング (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1) 硬質木片セメント板 ・組成(質量%) セメント質原料 73～78 木片 22～27 (2) 木繊維混入セメントけい酸カルシウム板 ・組成(質量%) けい酸カルシウム化合物 70～80 有機質繊維 15 無機質繊維 0～5 有機質混和材 0～3 無機質混和材 12～15 (3) 繊維補強セメント板 ・組成(質量%) セメント質原料 65～85 有機質繊維 2.5～8 無機質繊維 0～6 有機質混和材 0～3 無機質混和材 0～30 (4) 繊維補強セメントけい酸カルシウム板 ・組成(質量%) けい酸カルシウム化合物 65～96 有機質繊維 0～6 無機質繊維 0～3.5 有機質混和材 0～3 無機質混和材 0～30 但し、●繊維質原料 有機質：木繊維、パルプ、ポリビニルアルコール、ポリプロピレン 無機質：ガラス繊維、ロックウール、マイタ等 (石棉は使用してはならない) ●混和材 有機質：木粉、珪酸ソーダ、撥水剤等 無機質：パーライト、バーミキュライト、タタ等 ・サイディングの張方 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 横張 (2) 縦張 ・表面塗装 (1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする (1) アクリルウレタン系樹脂塗装 (2) アクリル系樹脂塗装 (3) アクリルシリコン系樹脂塗装 (4) フッ素系樹脂塗装 (5) 無機質系樹脂塗装 塗布量 200g/m ² (有機固形分) 以下 ・かさ比重 1.1±0.2 (気乾)

(寸法単位：mm)

項目	申請構造																																																						
②外装材 (つづき)	<p>・形状 (外形寸法)</p> <table border="1" data-bbox="571 414 1233 577"> <thead> <tr> <th rowspan="2">厚さ</th> <th colspan="2">幅</th> <th colspan="2">長さ</th> </tr> <tr> <th>最小</th> <th>最大</th> <th>最小</th> <th>最大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12~14</td> <td>400※</td> <td>1210</td> <td>1820</td> <td>3640</td> </tr> <tr> <td>15~25</td> <td>303</td> <td>910</td> <td>910</td> <td>3640</td> </tr> </tbody> </table> <p>※但し、重張の場合は160</p> <p>・端部形状 (サイディング相互の重なりと隙間)</p> <div data-bbox="638 689 845 840" style="text-align: center;"> <p>重なり</p> <p>隙間</p> </div> <table border="1" data-bbox="579 864 1035 981"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>重なり</th> <th>隙間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12~14</td> <td>6以上</td> <td>3以下</td> </tr> <tr> <td>15~25</td> <td>9以上</td> <td>3以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>・断面形状</p> <p><厚さ12~14></p> <table border="1" data-bbox="582 1057 1233 1312"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>12~14</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>模様深さ</td> <td>最小厚さ8以上を確保</td> </tr> <tr> <td>容積欠損率 (%)</td> <td>8以下 (但し、板厚12を超える場合は裏面から12以下の模様による欠損率とする)</td> </tr> <tr> <td>※中空率 (%)</td> <td>0 (中実)</td> </tr> </tbody> </table> <p><厚さ15~25></p> <table border="1" data-bbox="588 1350 1238 1637"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>15~25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>模様深さ</td> <td>最小厚さ11以上を確保</td> </tr> <tr> <td>容積欠損率 (%)</td> <td>11以下 (但し、板厚15を超える場合は裏面から15以下の模様による欠損率とする)</td> </tr> <tr> <td>※中空率 (%)</td> <td>87以下 (但し、板厚15を超える場合は厚さを増した分だけ、dの長さを増し中空率を上げることができる)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・中空の形状</p> <div data-bbox="654 1706 970 1809" style="text-align: center;"> </div> <table border="1" data-bbox="600 1843 1251 1942"> <thead> <tr> <th>厚さt</th> <th>a</th> <th>b</th> <th>c</th> <th>d</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15以上</td> <td>3以上</td> <td>3以上</td> <td>3以上</td> <td>9以下</td> </tr> </tbody> </table>	厚さ	幅		長さ		最小	最大	最小	最大	12~14	400※	1210	1820	3640	15~25	303	910	910	3640	厚さ	重なり	隙間	12~14	6以上	3以下	15~25	9以上	3以下	厚さ	12~14	模様深さ	最小厚さ8以上を確保	容積欠損率 (%)	8以下 (但し、板厚12を超える場合は裏面から12以下の模様による欠損率とする)	※中空率 (%)	0 (中実)	厚さ	15~25	模様深さ	最小厚さ11以上を確保	容積欠損率 (%)	11以下 (但し、板厚15を超える場合は裏面から15以下の模様による欠損率とする)	※中空率 (%)	87以下 (但し、板厚15を超える場合は厚さを増した分だけ、dの長さを増し中空率を上げることができる)	厚さt	a	b	c	d	15以上	3以上	3以上	3以上	9以下
厚さ	幅		長さ																																																				
	最小	最大	最小	最大																																																			
12~14	400※	1210	1820	3640																																																			
15~25	303	910	910	3640																																																			
厚さ	重なり	隙間																																																					
12~14	6以上	3以下																																																					
15~25	9以上	3以下																																																					
厚さ	12~14																																																						
模様深さ	最小厚さ8以上を確保																																																						
容積欠損率 (%)	8以下 (但し、板厚12を超える場合は裏面から12以下の模様による欠損率とする)																																																						
※中空率 (%)	0 (中実)																																																						
厚さ	15~25																																																						
模様深さ	最小厚さ11以上を確保																																																						
容積欠損率 (%)	11以下 (但し、板厚15を超える場合は裏面から15以下の模様による欠損率とする)																																																						
※中空率 (%)	87以下 (但し、板厚15を超える場合は厚さを増した分だけ、dの長さを増し中空率を上げることができる)																																																						
厚さt	a	b	c	d																																																			
15以上	3以上	3以上	3以上	9以下																																																			

(寸法単位：mm)

項目	申請構造									
②外装材 (つづき)	[2] 火山性ガラス質複層板 ・規格 JIS A 5440、QM-9142 ・厚さ 9.0 以上 ・寸法 最大：1220×3030 最小：455×910 ・実形状 長辺方向：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 切り放し (2) 本実 (3) 合じゃくり 短辺方向：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 切り放し (2) 本実 (3) 合じゃくり									
③外装下地材	胴縁 (1)、(2)のうちいずれか一仕様とする (1) 有り ・断面形状 9×30の断面寸法以上 ・間隔 500以下 (2) 無し									
④補強材	間柱 ・寸法 45 以上×45 以上 ・間隔 500 以下									
⑤防水シート	次の組合せのうち、いずれか一仕様とする <table border="1" data-bbox="560 1256 1227 1536"><thead><tr><th colspan="2" data-bbox="560 1256 1227 1305">仕 様</th></tr></thead><tbody><tr><td data-bbox="560 1305 628 1420" rowspan="3">単 張</td><td data-bbox="628 1305 1227 1346">(1)</td></tr><tr><td data-bbox="628 1346 1227 1386">(2)</td></tr><tr><td data-bbox="628 1386 1227 1420">(3)</td></tr><tr><td data-bbox="560 1420 628 1536" rowspan="2">複 合 張</td><td data-bbox="628 1420 1227 1480">(1) と (3)</td></tr><tr><td data-bbox="628 1480 1227 1536">(2) と (3)</td></tr></tbody></table> <p data-bbox="667 1563 1126 1592">*表中の(1)、(2)、(3)は以下の仕様とする</p> <p data-bbox="544 1626 1098 1861">(1) 透湿防水シート ・規格 JIS A 6111 ・厚さ 0.16 以上 (2) アスファルトフェルト (430) ・規格 JIS A 6005 (3) 防水テープ (ブチルゴム系またはアスファルト系粘着テープ)</p>	仕 様		単 張	(1)	(2)	(3)	複 合 張	(1) と (3)	(2) と (3)
仕 様										
単 張	(1)									
	(2)									
	(3)									
複 合 張	(1) と (3)									
	(2) と (3)									

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
⑥断熱材	<p>(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)硬質ウレタンフォーム保温板</p> <ul style="list-style-type: none">・規格 JIS A 9511・厚さ 100以下 <p>(2)フェノールフォーム保温板</p> <ul style="list-style-type: none">・規格 JIS A 9511・厚さ 100以上 <p>(3)グラスウール</p> <ul style="list-style-type: none">・規格 平成12年建設省告示第1400号・厚さ 100以上 <p>(4)ロックウール</p> <ul style="list-style-type: none">・規格 平成12年建設省告示第1400号・厚さ 100以上 <p>(5)セルローズファイバー</p> <ul style="list-style-type: none">・規格 JIS A 9523・厚さ 100以下
⑦内装材	<p>(1)～(6)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)強化せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none">・規格 平成12年建設省告示第1400号・厚さ 12.5 以上 <p>(2)せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none">・規格 平成12年建設省告示第1400号・厚さ 15 以上 <p>(3)厚さが12以上のせっこうボードの上に厚さが9以上のせっこうボード又は難燃合板を張ったもの</p> <ul style="list-style-type: none">・せっこうボード 規格 平成12年建設省告示第1401号・難燃合板 規格 平成12年建設省告示第1402号 <p>(4)厚さが9以上のせっこうボード又は難燃合板の上の上に厚さが12以上のせっこうボードを張ったもの</p> <ul style="list-style-type: none">・せっこうボード 規格 平成12年建設省告示第1401号・難燃合板 規格 平成12年建設省告示第1402号 <p>(5)厚さが7以上のせっこうラスボードの上に厚さが8以上のせっこうプasterを塗ったもの</p> <ul style="list-style-type: none">・せっこうラスボード 規格 JIS A 6901、NM-8617 <p>(6)火山性ガラス質複層板</p> <ul style="list-style-type: none">・規格 JIS A 5440、QM-9137・厚さ 12.5 以上

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
①釘 (ねじ)	<p>[1] 火山性ガラス質複層板留め付け用 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1) 釘 N50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 100以下 (外側) 200以下 (中央) (2) 釘 SFN50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 100以下 (外側) 200以下 (中央) (3) 釘 CN50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 100以下 (外側) 200以下 (中央) (4) 木ねじ $\phi 3.5$以上$\times t 32$以上 ・規格 JIS B 1112 ・間隔 100以下 (外側) 200以下 (中央)</p> <p>[2] サイディング留め付け用 ・寸法 $\phi 2.0$以上$\times t 38$以上 ・間隔 303 以下</p> <p>[3] 胴縁留め付け用 (胴縁を使用する場合に限る) (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 釘 N50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 500以下 (2) 釘 SFN50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 500以下 (3) 釘 CN50 以上 ・規格 JIS A 5508 ・間隔 500以下</p>
②金属ジョイナー	<ul style="list-style-type: none"> ・材料 鋼板製 ・厚さ 0.27 以上
③シーリング材	<p>(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする (1) ウレタン系シーリング材 (2) アクリル系シーリング材 (3) ポリサルファイド系シーリング材 (4) 変成シリコン系シーリング材 (5) シリコン系シーリング材 ・使用量 56～126 g/m</p>

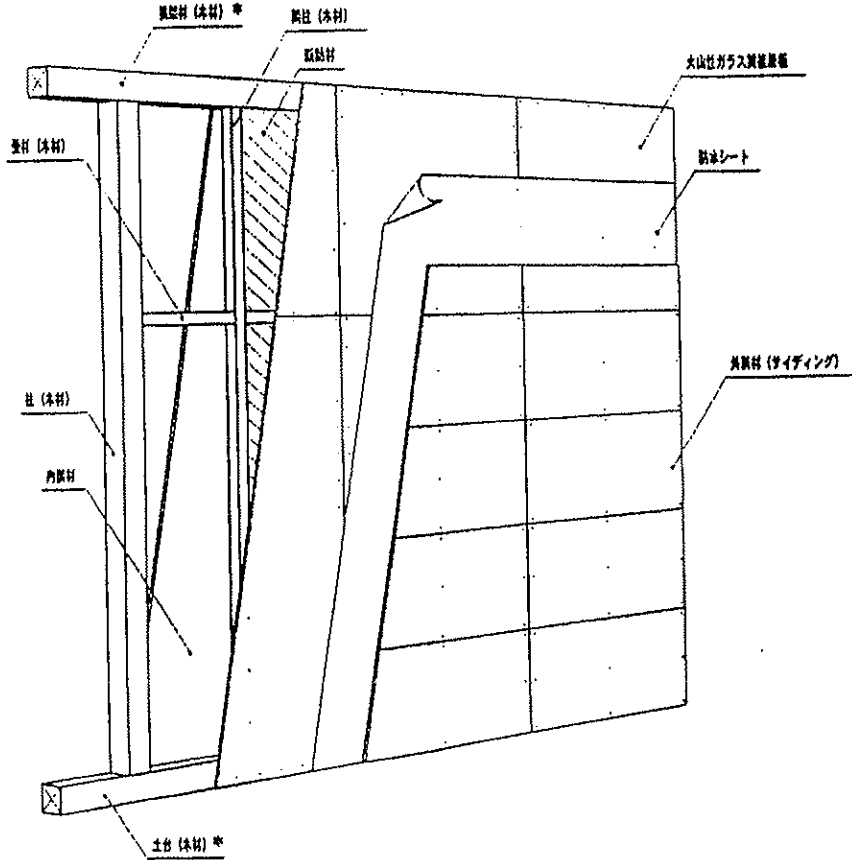
3) その他

(寸法単位：mm)

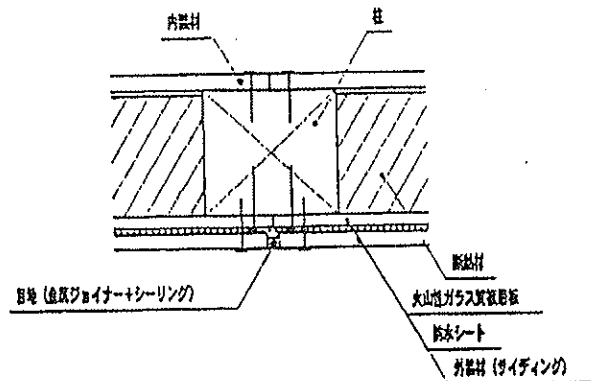
項目	申請構造
①通気層	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)通気層有り 胴縁を施工し、通気層を形成する (2)通気層無し

4. 構造説明図
 <構成の種類>

		サイディングの張方	
		横張	縦張
胴縁の有無	無し	図4-1、4-2	図4-5、4-6
	有り	図4-3、4-4	図4-7、4-8



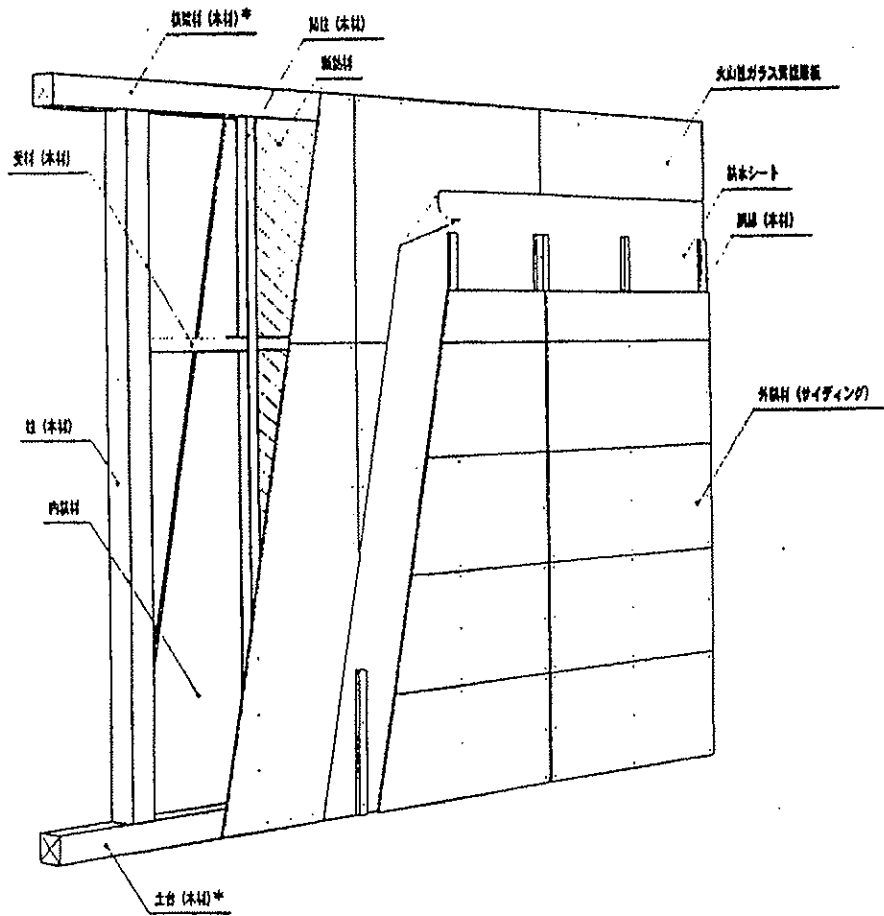
【図4-1：サイディング横張、胴縁無し構造（透視図）】



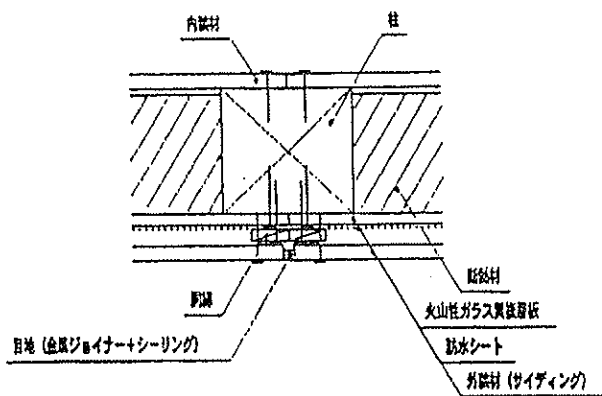
【図4-2：サイディング横張、胴縁無し構造（目地仕様図）】

注) 寸法は3のとおり

* : 本評価内容には含まない



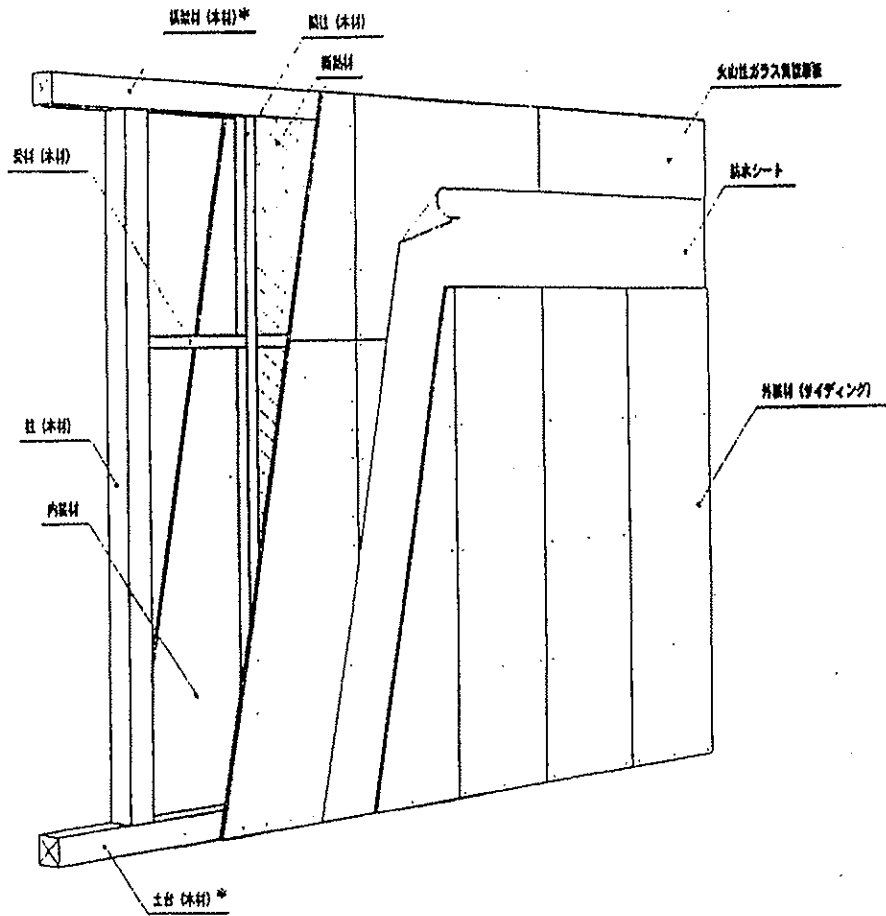
【図4-3：サイディング横張、胴縁有りの構造（透視図）】



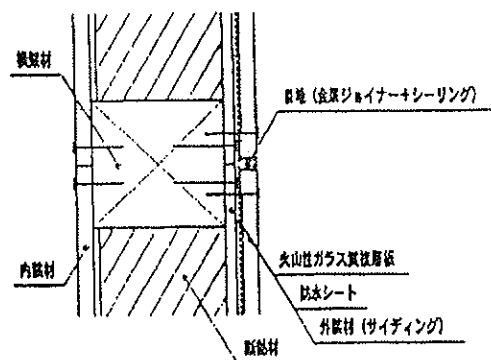
【図4-4：サイディング横張、胴縁有りの構造（目地仕様図）】

注) 寸法は3のとおり

*：本評価内容には含まない



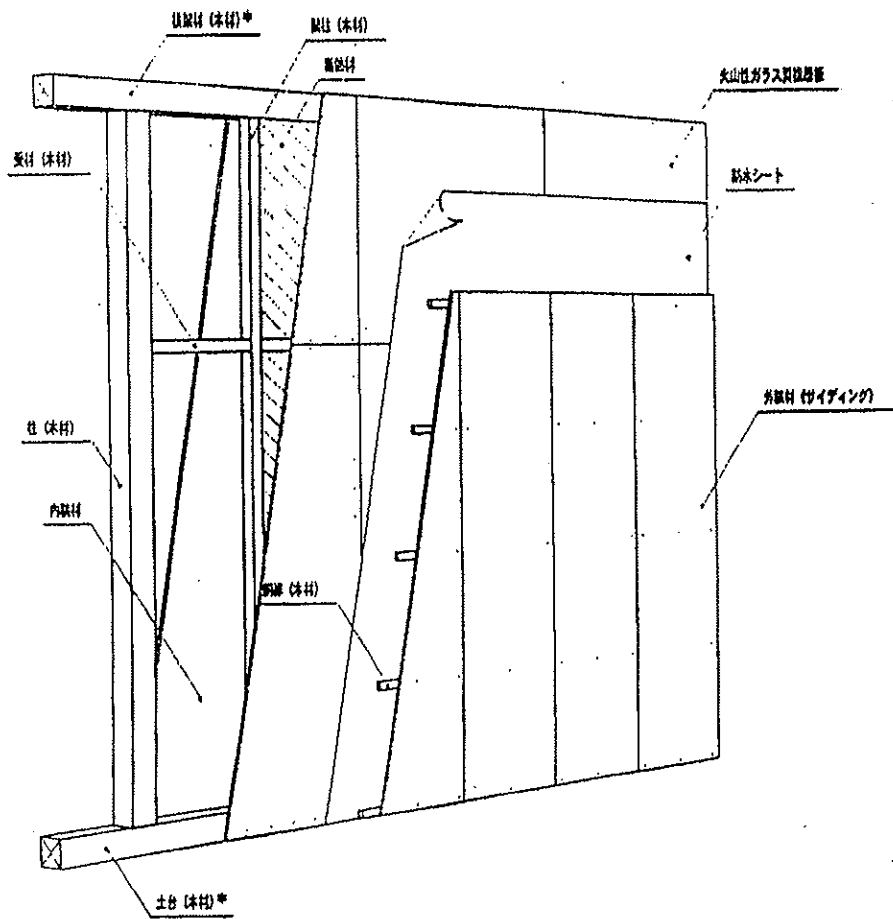
【図4-5：サイディング縦張、胴縁無し構造（透視図）】



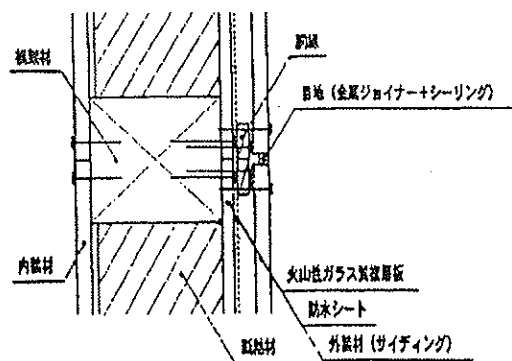
【図4-6：サイディング縦張、胴縁無し構造（目地仕様図）】

注) 寸法は3のとおり

* : 本評価内容には含まない



【図 4-7 : サイディング縦張、胴縁有りの構造 (透視図)】



【図 4-8 : サイディング縦張、胴縁有りの構造 (目地仕様図)】

注) 寸法は 3 のとおり

* : 本評価内容には含まない

5. 施工方法等

施工図は4と同じ

<施工手順>

- 1) 下地
 - ・柱、間柱等は反り・曲り等のないものを使用する。
 - ・柱と横架材とは上下長ほぞ差しまたは突き付けとし、接合金物を用いてN50以上の釘等で固定する。
 - ・間柱と横架材との仕口は、上部はほぞ差し、下部は突き付けとし、N50以上の釘で斜め打ちする。
- 2) 断熱材
 - ・柱、間柱の間に断熱材を敷き詰める。
- 3) 外装下地材
 - ・火山性ガラス質複層板を釘(N50)等で縦張固定する。
 - ・釘ピッチは周辺部100mm以下、中央部200mm以下とする。
- 4) 防水処理
 - ・外装下地材の上にアスファルトフェルト、防水テープ又は透湿防水シートを施工する。
- 5) 胴縁
 - ・必要に応じ、外装下地材の上に胴縁を500mmピッチ以下で固定する。
- 6) 外装材
 - ・サイディングを釘($\phi 2.0$ 以上 \times 138mm以上)で303mmピッチ以下で固定する。
 - ・サイディングの目地部は継ぎ手ジョイナーで繋ぎ、シーリング材で埋める。
- 7) 仕上げ
 - ・必要に応じ、防火上支障の無いように仕上げる。
- 8) 内装材
 - ・所定の内装材を施工する。